



マーケット・ウォッチ 2020年7月号

1. 先月の回顧と今後の相場見通し（要旨）

<先月の回顧>

① 株式市場

日経平均株価は前月比+410円上昇（騰落率+1.88%、月末終値 22,288円）。中国および先進国の経済活動再開ならびに米国経済指標の改善を受け、6月8日に株価は2万3千円台を回復。その後は新型コロナの新興国での感染拡大懸念に加え、米国の景気回復への警戒感の高まりから、日経平均株価は利益確定売りが上値を抑え、もみ合う展開。

② 為替市場

米ドル円相場は前月末比ほぼ変わらず（騰落率+0.22%、月末気配 1ドル 107.93円）。月初は米国雇用統計の大幅改善からリスク選好姿勢が強まり、6月5日には一時1ドル 109円 84銭まで円安が進んだが、米中の新型コロナ感染再拡大への懸念から前月末と変わらない水準まで戻し、その後は一進一退の展開。

③ 債券市場

日本10年国債利回りは、前月比+0.030%（月末値 0.030%）と若干上昇。経済対策による国債増発懸念から金利上昇する場面もあったが、国内の感染第2波への懸念および米FRB（米連邦準備理事会）の金融緩和姿勢強化から長期金利の上昇は限定的でレンジ内推移。

<今後の相場見通し>

① 株式市場

日経平均株価は底堅い推移を予想。景気実態と株価水準との乖離および感染第2波への警戒感などから株価の上値が意識されるが、段階を踏みながらも経済活動は着実に正常化しており、また治療薬・ワクチンの開発も進展しているため、株式市場は来年の企業業績改善を織り込み始める展開を想定。

（今月の予想レンジ）日経平均株価 22,000 ~ 24,000円 NYダウ 25,000 ~ 28,000ドル

② 為替市場

米ドル円相場は、米ドルの底堅い展開を予想。大統領選の劣勢が報道されるトランプ大統領の更なる経済対策を見込み、米景気の回復期待およびリスク選好姿勢を背景に米ドルの安定推移を想定。

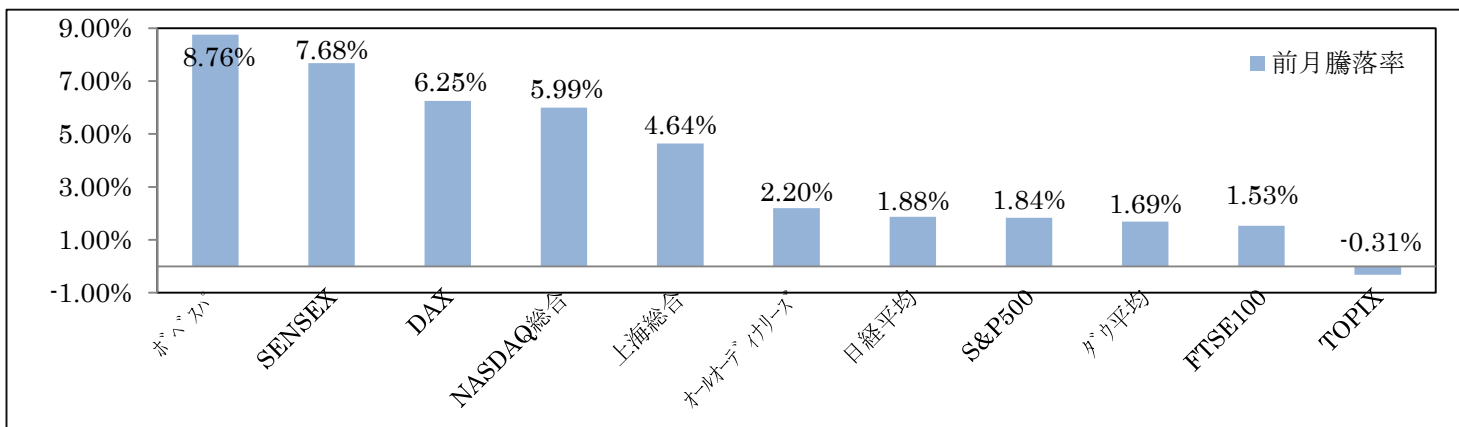
（今月の予想レンジ）米ドル円 107.00 ~ 110.00円 ブラジルリアル円 19.50 ~ 23.50円

③ 債券市場

日本10年国債利回りは、横ばい圏推移を予想。政府の経済対策により国債は増発されるが、日銀の国債買入により金利上昇の抑制を見込む。日本銀行は副作用を考えるとマイナス金利深掘りには動きづらく、今後も金融政策は資産購入の増減で対応するため、利回り低下も限定的。

（今月の予想レンジ）日本10年国債利回り ▲0.01 ~ 0.05% 米国10年国債利回り 0.60 ~ 0.90%

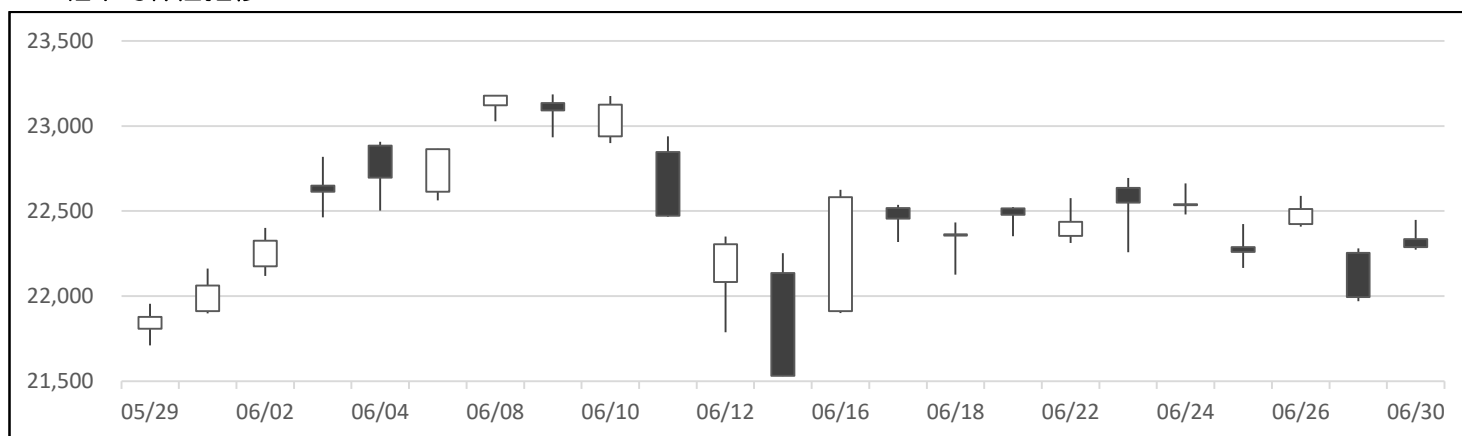
2. 株式 < 主要株式指標 前月騰落率 >



< 主要株式指標 月末終値 >

日経平均	TOPIX	NYダウ	S&P500	NASDAQ	DAX	FTSE100	日経平均	上海総合	日経平均	SENSEX
日本	日本	アメリカ	アメリカ	アメリカ	ドイツ	イギリス	オーストラリア	中国	ブラジル	インド
22,288.14	1,558.77	25,812.88	3,100.29	10,058.766	12,310.93	6,169.74	6,001.3	2,984.6741	95,055.82	34,915.8

< 日経平均株価推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

< 先月の回顧 >

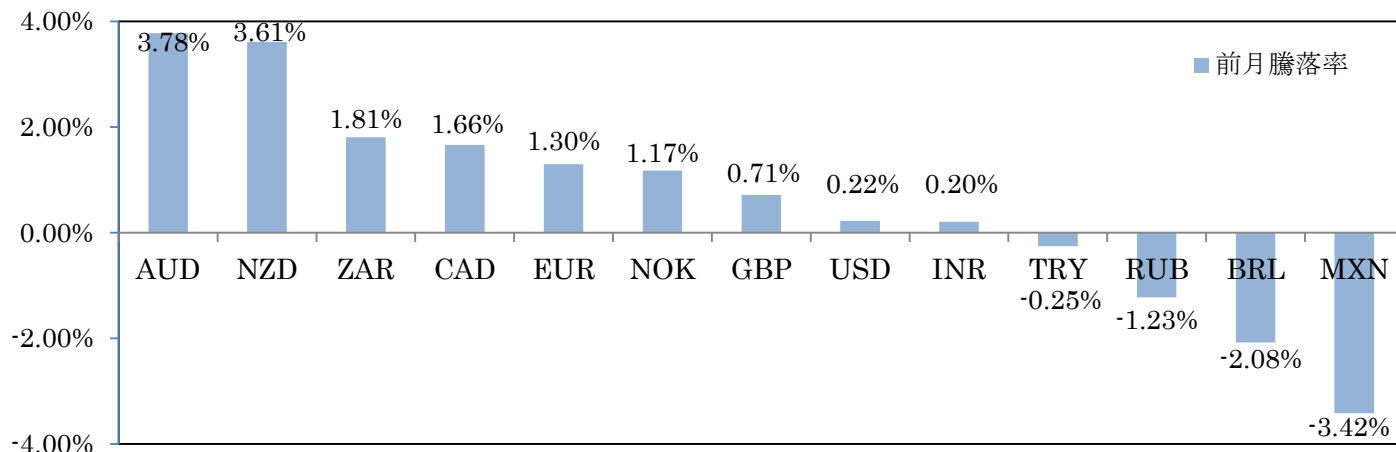
- ① 日経平均株価は前月比+410円上昇(騰落率+1.88%、月末終値 22,288円)。中国および先進国の経済活動再開ならびに米国経済指標の改善を受け、6月8日に株価は2万3千円台を回復。その後は新型コロナの新興国での感染拡大懸念に加え、米国の景気回復への警戒感の高まりから、日経平均株価は利益確定売りが上値を抑え、もみ合う展開。
- ② NYダウ(米国株式)は前月比+429ドル(騰落率+1.69%、月末終値 25,812ドル)と小幅上昇したが、ハイテク株の割合が高いナスダックは前月比+568ポイント(騰落率+5.99%、月末終値 10,058ドル)で史上最高値を更新するなど大幅上昇。新型コロナ禍で成長が期待できる業種・銘柄への投資が拡大。

< 今後の見通し >

- ① 日経平均株価は底堅い推移を予想。景気実態と株価水準との乖離および感染第2波への警戒感などから株価の上値が意識されるが、段階を踏みながらも経済活動は着実に正常化しており、また治療薬・ワクチンの開発も進展しているため、株式市場は来年の企業業績改善を織り込み始める展開を想定。
- ② 米国株式は堅調地合いの展開を予想。大統領選挙の世論調査で劣勢のトランプ大統領には危機感が強く、追加の現金給付などの経済対策を8月の議会休会前に取りまとめる可能性が高い。米政府およびFRB(米連邦準備理事会)の強力な政策サポートを受け、株式市場は波乱要因でも一時的な下落に止め緩やかに上昇する展開を想定。

(今月の予想レンジ) 日経平均株価 22,000 ~ 24,000円 NYダウ 25,000 ~ 28,000ドル

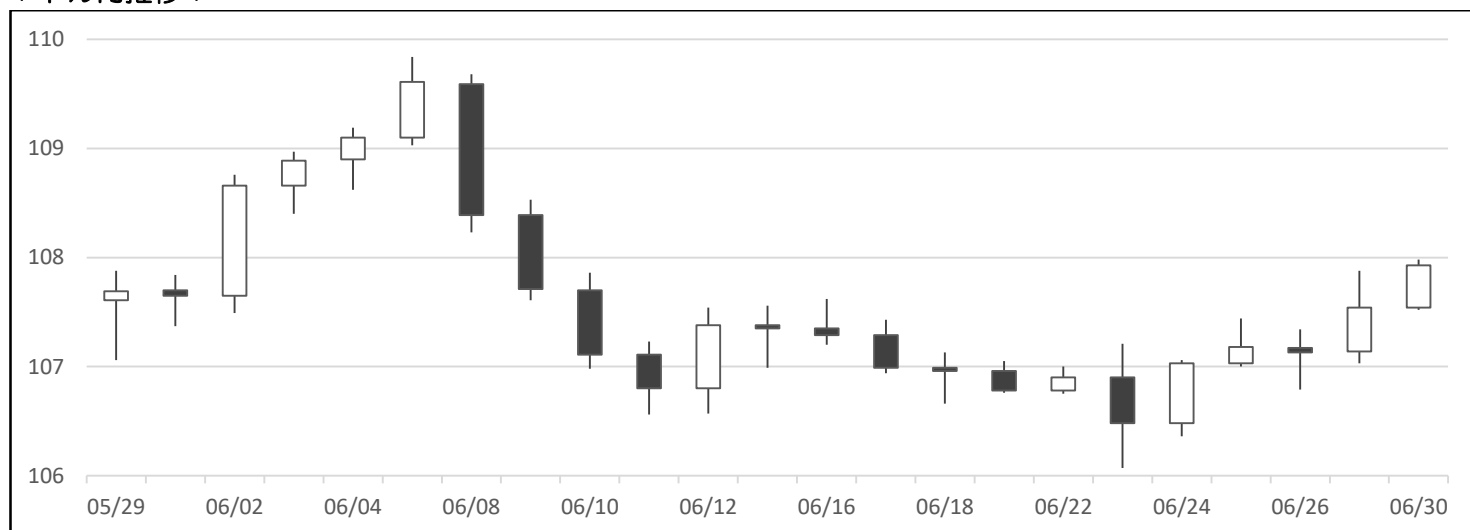
3. 外国為替 < 主要通貨対円 前月騰落率 >



< 主要通貨対円 月末気配レート >

USD	EUR	GBP	AUD	CAD	NZD	NOK	BRL	INR	MXN	RUB	ZAR	TRY
アメリカ	EU	イギリス	オーストラリア	カナダ	ニュージーランド	ノルウェー	ブラジル	インド	メキシコ	ロシア	南アフリカ	トルコ
107.93	121.23	133.82	74.48	79.5	68.9	11.2	19.75	1.4288	4.6891	1.5157	6.2	15.73

< ドル円推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

< 先月の回顧 >

- ① 米ドル円相場は前月末比ほぼ変わらず（騰落率+0.22%、月末気配 1ドル 107.93 円）。月初は米国雇用統計の大幅改善からリスク選好姿勢が強まり、6月5日には一時1ドル 109円 84銭まで円安が進んだが、米中の新型コロナウイルス感染再拡大への懸念から前月末と変わらない水準まで戻し、その後は一進一退の展開。
- ② 新興国通貨は全般的に弱含み推移。先進国中心に感染第2波が懸念されるなか、新興国通貨は売られやすい展開。ブラジルレアルは政府の中小企業支援策の発表から一時レアル高が進行したが、中央銀行の利下げに加え国内のコロナ感染者増加からレアルは対円で前月比約▲2%下落。

< 今後の見通し >

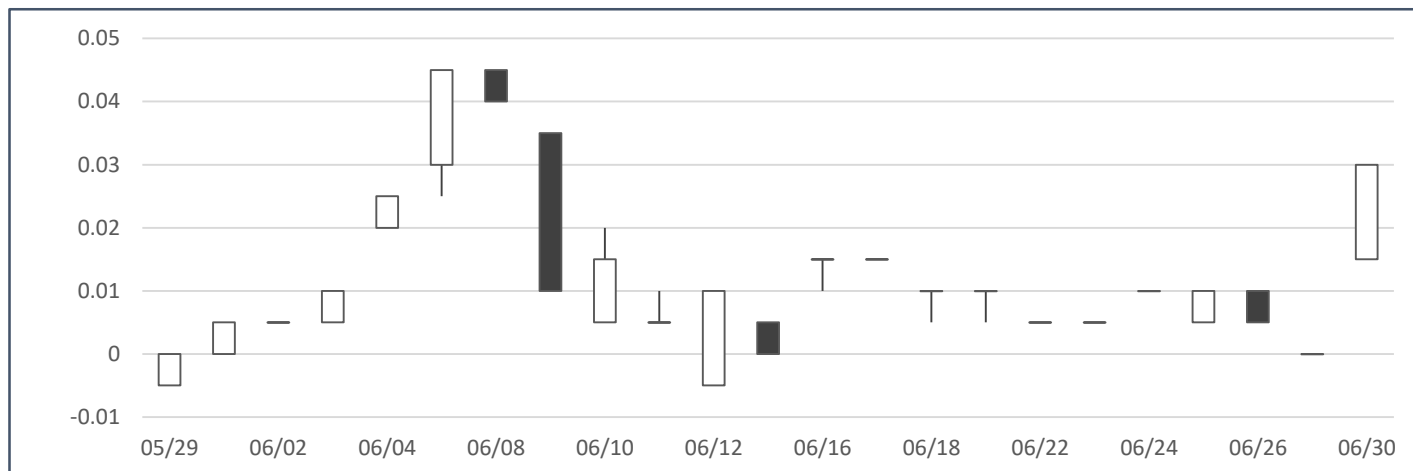
- ① 米ドル円相場は、米ドルの底堅い展開を予想。大統領選の劣勢が報道されるトランプ大統領の更なる経済対策を見込み、米景気の回復期待およびリスク選好姿勢を背景に米ドルの安定推移を想定。
- ② 新興国通貨は緩やかな上昇を予想。ブラジルでは昨年8月以降の利下げサイクルが6月の会合を最後に終了し、年内は政策金利の据え置きを見込む。レアル円は一進一退ながら経常収支の黒字基調を背景に緩やかなレアル高を想定。

(今月の予想レンジ) 米ドル円 107.00 ~ 110.00 円 ブラジルレアル円 19.50 ~ 23.50 円

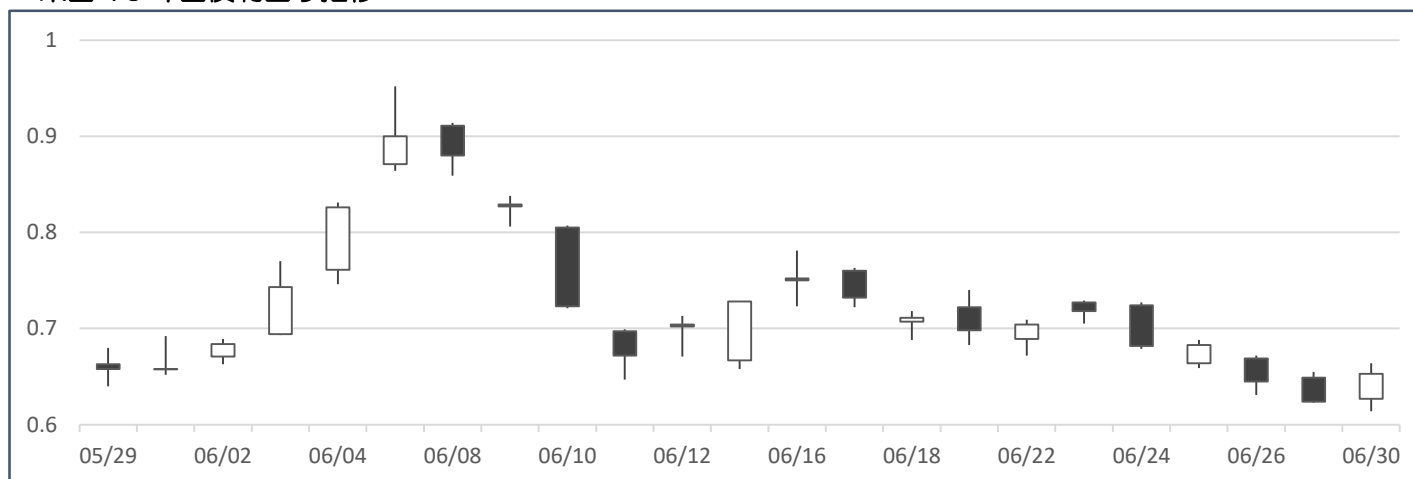
4. 債券 < 10年国債利回り 前月騰落幅 >

	日本	アメリカ	ドイツ	イギリス	インド	ブラジル	メキシコ
10年国債利回り	0.03	0.653	-0.457	0.168	5.881	6.721	5.807
前月騰落幅	0.03	-0.005	-0.007	-0.016	0.0975	-0.068	-0.352

< 日本 10年国債利回り推移 >



< 米国 10年国債利回り推移 >



(出所)：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

< 先月の回顧 >

- ① 日本 10年国債利回りは、前月比+0.030%（月末値 0.030%）と若干上昇。経済対策による国債増発懸念から金利上昇する場面もあったが、国内の感染第2波への懸念および米FRB（米連邦準備理事会）の金融緩和姿勢強化から長期金利の上昇は限定的でレンジ内推移。
- ② 米国 10年国債利回りは、前月比▲0.005%低下（月末値 0.653%）。月初は予想を上回る経済指標の改善から0.9%台まで利回りは上昇したが、その後の米FRB（米連邦準備理事会）の個別企業の社債購入開始などから金利は前月末とほぼ同水準の0.6%台で推移。

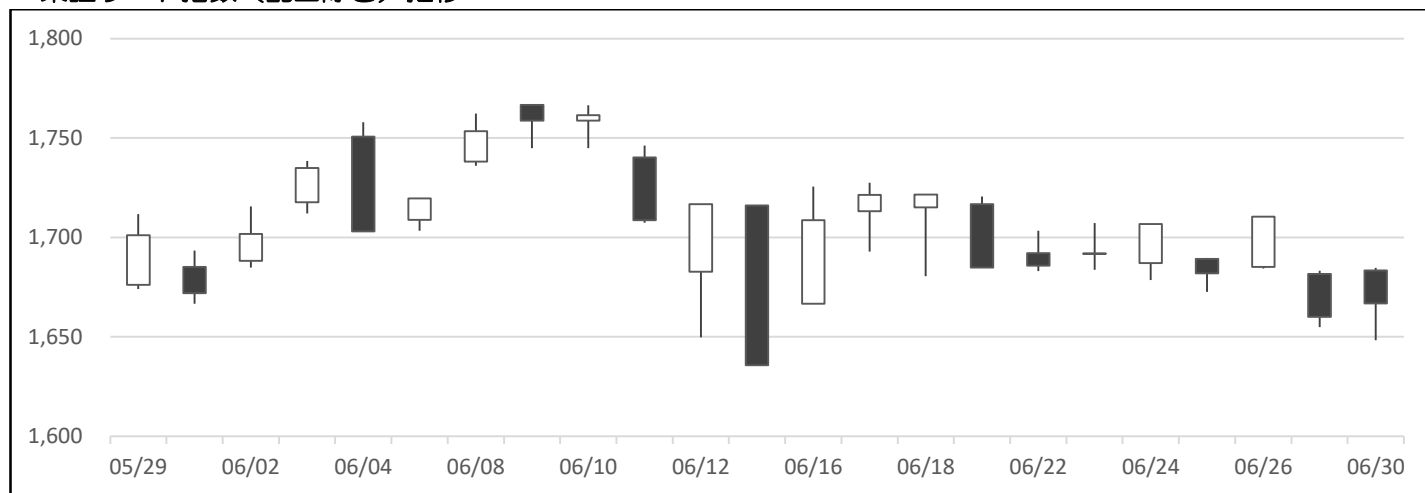
< 今後の見通し >

- ① 日本 10年国債利回りは、横ばい圏推移を予想。政府の経済対策により国債は増発されるが、日銀の国債買入により金利上昇の抑制を見込む。日本銀行は副作用を考えるとマイナス金利深掘りには動きづらく、今後も金融政策は資産購入の増減で対応するため、利回り低下も限定的。
- ② 米国 10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では参加者のほぼ全員が2022年末まで政策金利据え置きとの見通しを示しており、長期金利は当面横ばい圏での推移を見込む。
（今月の予想レンジ）日本 10年国債利回り ▲0.01 ~ 0.05 % 米国 10年国債利回り 0.60 ~ 0.90 %

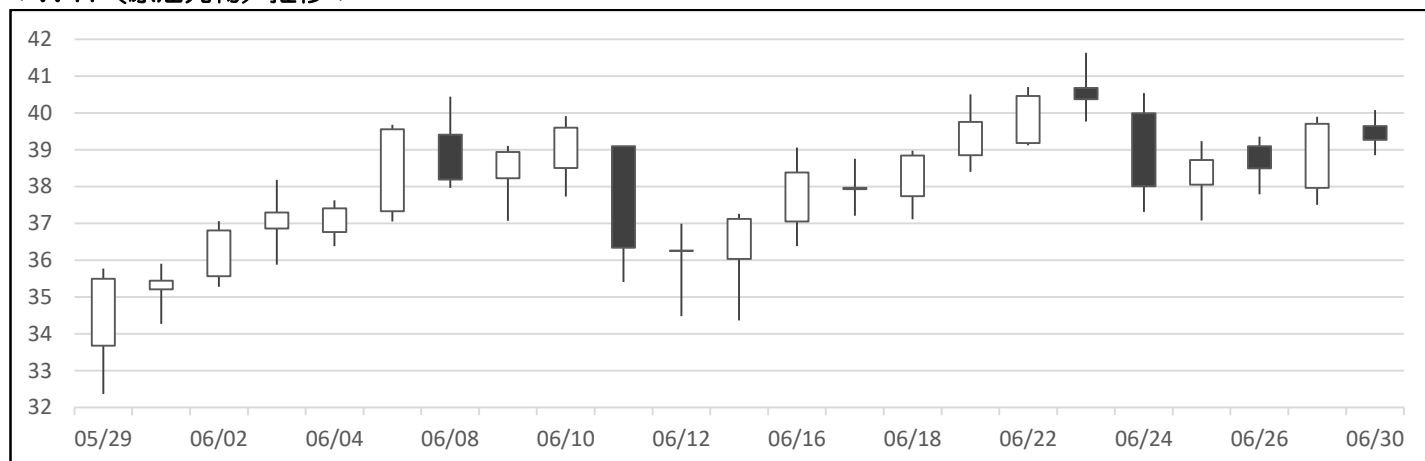
5. その他「リート、商品」〈月末気配値または終値及び前月騰落率〉

	リート（配当除き）			商品（米ドル建）	
	東証リート指数	S&P 米国リート指数	S&P 豪州リート指数	原油 WTI 先物	金 COMEX 先物
指数（配当除き）	1666.83	276.16	126.45	39.27	1800.5
前月騰落率	-2.01	2.48	-2.73	10.65	2.79

〈東証リート指数（配当除き）推移〉



〈WTI（原油先物）推移〉



（出所）：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

〈先月の回顧〉

- ① Jリート（日本の不動産投資信託）市場の東証リート指数は、前月末比▲2.01%の下落（月末終値：1,666 ポイント）。月初は緊急事態宣言の全面解除による経済活動正常化期待からリート指数は上昇したが、その後は感染第2波への懸念などから弱含み一進一退で推移。
- ② WTI（原油先物）は、前月末比+10.65%の上昇（月末終値：39.27 ドル）。OPEC プラスの協調減産が6月まで延長され、6月22日には40ドルを突破するなど堅調に推移したが、下旬には米国で新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念から上値の重い展開。

〈今後の見通し〉

- ① 東証リート指数は、上値の重い展開を予想。Jリートの相対的に高い分配金へのニーズは強いが、感染第2波への懸念および目処が立たないインバウンド需要の回復からレンジ内推移を見込む。
- ② WTIは横ばい圏での推移を予想。感染第2波による原油需要減少の懸念は高まるが、米国シェール企業の原油生産は減少しており、現状レベルでの推移を見込む。

（今月の予想レンジ） Jリート 1,650 ～ 1,800 ポイント WTI 38 ～ 45 ドル

6. 2020年7月のスケジュール

日本		米国		その他	
1日	4-6月期日銀短観	1日	6月ADP雇用統計	7日	豪準備銀行政策金利
8日	5月国際収支・貿易収支		6月ISM製造業景況指数	14日	英国5月GDP)
9日	5月機械受注	2日	6月雇用統計	16日	中国4-6月四半期GDP
15日	日銀金融政策決定会合	14日	5月消費者物価指数(CPI)		欧州中央銀行政策金利
20日	日銀金融政策決定会合 議事要旨	16日	6月小売売上高	17日	6月欧州消費者物価指数
21日	6月全国CPI	24日	6月新築住宅販売件数	24日	ロシア中銀政策金利
31日	6月鉱工業生産	29日	FOMC政策金利発表	30日	独4-6月四半期GDP
	6月失業率	30日	4-6月期実質GDP(速報値)	31日	欧州域内4-6月GDP(確定)
		31日	PCEコアデフレーター		

(出所)：各種報道機関等の情報を基に静銀ティーエム証券が作成

7. セミナー開催の中止について

「新型コロナウイルス」の感染防止のため、お客さまの健康と安全を最優先に考慮し、当面の間セミナーを中止させていただいております。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

8. 事業所案内

支店名	住 所	電話番号	支店名	住 所	電話番号
本 社	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (アゴラ静岡4F)	0120-23-1184	富士支店	〒417-0055 富士市永田町1丁目70番地 (静岡銀行富士中央支店2F)	0545-51-2211
本店営業部	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (静岡銀行呉服町支店2F)	054-255-7511	浜松支店	〒430-0944 浜松市中区田町322番地の7 (アゴラ浜松2F)	053-458-7700
静岡駅南支店	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 (静銀・中京銀静岡駅南ビル2F)	054-282-5700	掛川支店	〒436-0056 掛川市中央1丁目22番地の10 (静岡銀行掛川支店2F)	0537-22-0080
清水支店	〒424-0812 静岡市清水区小芝町2番1号 (静岡銀行清水中央支店2F)	054-367-2000	磐田支店	〒438-0073 磐田市二之宮東1番地1 (静岡銀行磐田支店2F)	0538-36-1411
藤枝支店	〒426-0034 藤枝市駅前1丁目6番4号 (静岡銀行藤枝駅支店2F)	054-645-2110	浜松西支店	〒432-8061 浜松市西区入野町9784番地の1 (静岡銀行入野支店1F)	053-449-5500
島田支店	〒427-0022 島田市本通3丁目6番の2 (静岡銀行島田支店1F)	0547-34-5040	浜松北支店	〒433-8114 浜松市中区葵東1丁目5番2号 (静岡銀行葵町支店2F)	053-420-1851
沼津支店	〒410-0055 沼津市高島本町1番地の1 (静岡銀行沼津駅北支店2F)	055-921-1811	浜北中央支店	〒434-0038 浜松市浜北区貴布祢318番地の1 (静岡銀行浜北支店2F)	053-586-7811
熱海支店	〒413-0013 熱海市銀座町14番8号 (静岡銀行熱海支店3F)	0557-83-5081	横浜支店	〒220-0011 横浜市西区高島2丁目19番12号 (スカイビル22階)	045-548-4888
三島支店	〒411-0838 三島市中田町10番29号 (静岡銀行三島支店2F)	055-972-9100	横浜支店 藤沢営業所	〒251-0052 藤沢市藤沢東横須賀556番地の76 (静岡銀行藤沢支店2F)	0466-22-6781

【作成】静銀ティーエム証券(株) 商品部

佐野 寿宏 (公益社団法人日本証券アナリスト協会 認定アナリスト・日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために静銀ティーエム証券が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通ししないし分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の静銀ティーエム証券商品部の見解です。また、静銀ティーエム証券が取り扱う商品における投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

● 投資信託にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

直接ご負担いただく費用 ・ 申込手数料 上限 3.85% (税込) ・ 信託財産留保額 上限 0.5%

間接的にご負担いただく費用 ・ 信託報酬 上限 2.42% (税込) ・ その他の費用 監査報酬、売買委託手数料等

※「その他の費用」につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を表示できません。

また、費用等の合計額につきましても、申込金額や保有期間等に応じて異なりますので表示できません。

※上記の費用の料率につきましては、当社が販売する投資信託のうち、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※外貨建て外国投資信託の売買、償還等にあたり、円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した適用為替によるものとします。

◆ 投資信託のリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や債券、REIT、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落（価格変動リスク）や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化（信用リスク）、また外貨建資産に投資する場合には為替の変動（為替リスク）等の影響により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。ファンドによっては、換金できない期間がある場合や、1日あたりの換金額が制限される場合があります。

詳細は各ファンドの契約締結前交付書面（投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面）をご確認ください。

● 上場有価証券等にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

上場有価証券等の売買にあたっては以下の手数料をいただきます。

- ・ 日本株式 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)
- ・ 新株予約権付社債 約定代金に対して税込み最大 1.21% (最低料金 2,750 円)
- ・ 外国株式 約定代金に対して税込み最大 1.1%

◆ 上場有価証券等のリスクについて

株式相場、金利水準、為替相場等の変動等によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況の変化によって上場有価証券等の価格が変動し、損失が生じるおそれがあります。

上場有価証券等のお取引の際は、あらかじめ上場有価証券等書面をよくお読みください。

● 円貨建て・外貨建て債券にかかるご注意

◆ お客様にご負担いただく費用

債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入する場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

外貨建て債券の売買、償還等にあたり円貨と外貨を交換する際には、当社が決定した為替レートによるものとします。

◆ 債券のリスクについて

債券の市場価格は、基本的に市場の金利水準の変化に対応して変動します。したがって売却の場合は売却損が生じるおそれがあります。

外貨建て債券は為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。債券の発行者等の業務や財産の状況の変化によって債券の価格が変動し、売却損が生じるおそれがあります。

上記は、債券のすべてのリスクを表記したものではありませんので、お取引の際は、あらかじめ契約締結前交付書面をよくお読みください。

SHIZUGIN TM SECURITIES



静岡ディーエム証券株式会社

静岡市追手町1番13号(アゴラ静岡4階) 〒420-0853

TEL.(054)254-6111 FAX.(054)205-1925

URL <http://www.shizuginm.co.jp/>